

学科名	電気通信工学科					
科目名	論理回路					
科目区分	専門科目		単位数	2	開講時期	2年前期
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)					
担当者	松崎 隆哲					
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・論理変数を利用した論理演算を理解する。(B4) ・真理値表・論理演算・カルノー図について理解し、それらを用いて論理回路を設計することができる。(B4) ・簡単な組み合わせ回路の設計手法を習得する。(B4) ・簡単な順序回路の設計手法を習得する。(B4) 					
日程と内容	4/13 導入講義 4/20 ブール代数 4/27 基本論理回路 5/2 カルノー図 5/11 真理値表とカルノー図 5/25 加算器 6/1 演習 6/6 順序回路・RSFF 6/8 DFF・順序回路の設計 6/15 カウンタの設計 6/22 3ビットカウンタ 6/29 4ビットカウンタ(1) 7/6 4ビットカウンタ(2) 7/13 総合演習 一回目 7/18 定期試験 一回目 7/27 総合演習 二回目					
成績評価基準	定期試験	70%	実技			
	臨時試験		部外評価			
	報告書・レポート		プレゼンテーション			
	課題					
	演習	30%	計			100%
授業到達目標の達成度	合格者によっては理解度に差があると思うが、合格者は授業の到達目標を達成しているといえる。					
反省点	演習科目として論理回路演習がセットになっていっていることから、授業では類似問題での考え方などの説明が不足していた。そのため、授業で説明した回路構造などの応用が十分にできなかつたようであった。					
来年度の計画	授業中の説明内容や演習課題などを工夫して、学生が多くの視点から回路設計方法を考えることができるようにしていきたい。					
授業評価アンケートに対するコメント	講義自体が専門科目の中でも基礎的な科目であり、その応用もイメージしづらい科目であったためか、授業内容に興味をもつようになったかの評価が3.5であった。授業内容に拳銃を持つてもらわないと、理解度の改善(授業内容の理解(3.7))につながらないと思われる所以、授業内容に興味を持って理解してもらえる方策を考えていきたい。また、自学自習(授業外の予習・復習)で週1時間未満が44.6%となっているので、自学自習をして理解度を増すような演習も検討したい。					
履修登録者数	73 名	定期試験受験者数	70 名	合格者数	64 名	合格率
						91%